

CASBEE_Sapporo2014v1.0
 (仮称)ペガスペガス発寒店新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.0)

スコアシート		基本設計段階			重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									2.5
Q1 室内環境						0.40			2.7
1 音環境					2.6	0.23			2.6
1.1 騒音					3.0	0.40			
1.2 遮音					3.0	0.40			
1 開口部遮音性能					3.0	1.00	3.0		
2 界壁遮音性能					3.0	-	3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-	3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	3.0		
1.3 吸音					1.0	0.20			
2 温熱環境					2.4	0.44			2.4
2.1 室温制御					2.6	0.50			
1 室温		W			3.0	0.50	3.0		
2 外皮性能					1.0	0.17	3.0		
3 ソーン別制御性					3.0	0.33			
2.2 湿度制御					1.0	0.20			
2.3 空調方式					3.0	0.30			
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率					3.0	-	3.0		
2 方位別開口							3.0		
3 昼光利用設備		W			3.0	-	3.0		
3.2 グレア対策									
1 昼光制御		W			3.0	-	3.0		
3.3 照度					3.0	-	3.0		
3.4 照明制御					3.0	-	3.0		
4 空気質環境					3.4	0.33			3.4
4.1 発生源対策					4.0	0.50			
1 化学汚染物質				内装材は全面的にF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	3.0		
2 有害ガス対策									
4.2 換気					2.0	0.30			
1 換気量					3.0	0.50	3.0		
2 自然換気性能					3.0	-	3.0		
3 取り入れ外気への配慮					1.0	0.50	3.0		
4.3 運用管理					4.0	0.20			
1 CO ₂ の監視					3.0	0.50			
2 喫煙の制御				喫煙室を設け、非喫煙者が煙に曝されないよう対策を実施	5.0	0.50			
Q2 サービス性能						0.30			2.8
1 機能性					2.2	0.40			2.2
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40			
1 広さ・収納性					3.0	-	3.0		
2 高度情報通信設備対応					3.0	-	3.0		
3 バリアフリー計画					3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性					1.0	0.30			
1 広さ感・景観					3.0	-	3.0		
2 リフレッシュスペース					3.0	-			
3 内装計画					1.0	1.00			
1.3 維持管理					2.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計					3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保					2.0	0.50			
3 維持管理業務									
2 耐用性・信頼性					2.8	0.30			2.8
2.1 耐震・免震					3.0	0.50			
1 耐震性					3.0	0.80			
2 免震・制振性能					3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数					2.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	W				2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	W				3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	W				3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	W			給水管(VLP・PEP)・排水管(VP)→B、給湯管(CUP)→D、E不使用	5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔	W				3.0	0.20			
2.4 信頼性					2.4	0.20			
1 空調・換気設備					3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備					2.0	0.20			
3 電気設備					3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20			
5 通信・情報設備					1.0	0.20			
3 対応性・更新性					3.6	0.30			3.6
3.1 空間のゆとり					5.0	0.30			
1 階高のゆとり				壁長さ比率0.1未満	3.0	-	3.0		
2 空間の形状・自由さ					5.0	1.00	3.0		
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.30			
3.3 設備の更新性					3.0	0.40			
1 空調配管の更新性					3.0	0.20			
2 給排水管の更新性					3.0	0.20			
3 電気配線の更新性					3.0	0.10			
4 通信配線の更新性					3.0	0.10			
5 設備機器の更新性					3.0	0.20			
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20			

CASBEE_Sapporo2014v1.0
 (仮称)ベガスベガス発寒店新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.0)

スコアシート		基本設計段階		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	W	G	S	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			G			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			G			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮・快適性の向上				S		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		W	G			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	2.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		W				2.3	0.20	-	-	2.3
2 自然エネルギー利用		W				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -	3.0	0.50	-	-	3.0
集合住宅以外の評価(3a,3b)		W				3.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)		W				-	-	-	-	
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		W				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		W				3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価						-	-	-	-	
4.1 モニタリング		W				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		W				3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					自動水栓に加え、節水便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減		W				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		W				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		W			-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		W			-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		W				2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		W			LGS下地材を採用	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						3.0	0.70	-	-	
1 消火剤		W				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		W				3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		W				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮						3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮						2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止		W				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		W	G	S		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		W				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制						2.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		W		S		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮						2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	
1 騒音						3.0	1.00	-	-	
2 振動						-	-	-	-	
3 悪臭						-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制						-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制						1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						1.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	